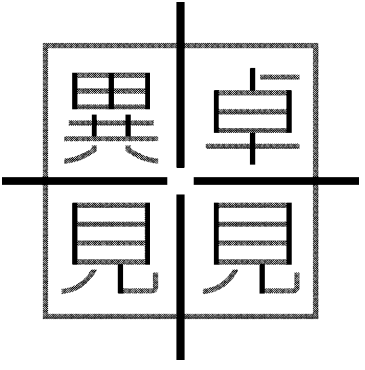


# ひとカイヤ 交差点



森トラスト/森トラスト・ホテルズ&リゾート社長  
伊達 美和子



企業の生産性をいかに高めるか。この難題を解決しようと、日本企業は2018年頃からあらゆる取り組みを強化させている。時間当たりの利益を最大化するために、何をすべきか。投入したヒト・モノ・カネに対して生み出される利益を可視化し、それをどう伸ばしていくか。これには大きく二つの方法がある。

一つは、コストコントロールだ。ある商品を提供するのに必要なコストを徹底的に削れば、当然のように利益は上がる。だが、それだけでは明るい未来は見込めない。そこで二つ目に考えなければいけないことが、取引先や消費者に訴求する付加価値の確立だ。コ

## 生産性高める「価値づくり」

ストを意識しながら、商品の存在意義を磨くことが大切だ。

### 1-1 導入で業務棚卸し

とはいえ、いずれも簡単ではない。コストコントロールを進めるには、どれだけ業務プロセスを整理できるかがカギを握る。だが特に第3次産業は見えない部分が多く、第2次産業に比べ苦戦している印象だ。またITで一気には生産性を高めようとする試みは、従来の業務のIT化で効率化ではない。ITは魔法の杖ではない。

波が押し寄せている現代社会からこそ「自分たちはこんな未来を見据え、だからこの商品やサービスを提供する」というメッセージがほしい。それを共有できれば、ウォンツがニーズに変わることもあるはずだ。

ただ、マーケットを探る時に過去のデータに頼るのは間違いだ。過去は本来、参考にならない。そこから未来を想像し、新しいものを投入するチャレンジにこだわりたい。日本人は結果が出る前に目標や方針を掲げることが得意とされないが、それでは新しいものは生まれない。先にビジョンを提示

し、企業としてのビジョンをもっと発信してもよいと思う。変化の波が押し寄せている現代社会からこそ「自分たちはこんな未来を見据え、だからこの商品やサービスを提供する」というメッセージがほしい。それを共有できれば、ウォンツがニーズに変わることもあるはずだ。

また理想のビジョンを。そのためには、企業の発信力も問われる。消費者のウォンツに

だて・みわこ 96年(金)慶大院政策・メディア研究科修士修了。コンサルディング会社を経て、98年森トラスト入社。00年取締役、03年常務、08年専務、11年森トラスト・ホテルズ&リゾート社長、16年森トラスト社長を兼務。東京都出身。

# ニーズ喚起し続ける挑戦

このサイクルが回るようになれば、企業が市場を形成することも可能になる。人口減少で働き手が減る中で、共感されるのは豊かで成熟した社会につながるアイデアだ。これを提案し続けることで、企業は生産性の高いコスト管理と高い付加価値を持つ商品の提供を両立できる。

それはブレ発想を脱し、より豊かなものを提供する姿勢だ。高付加価値商品に対し、消費者のニーズを喚起し続ける挑戦も意味する。我々がしなければならぬのは、消費者に価値のあり方を問いかけ続けることだ。

新しいことへの挑戦は生産性も低くする。試行錯誤しているから。それでも就業時間の85%程度で日営業をこなし、残る15%で担当業務に深く関係なく企業や商品の価値向上や新事業の創出に取り組みするのが理想だ。その15%を生み出す上でも生産性向上は不可欠。余裕があれば、企業も個人も新しいことに挑む環境を整え、当社でもこの15%を生むべく、業務の洗い直しやITの導入検討を終えた。足元は最後の作り込みに入っており、順調に歩みを進めている自負がある。当社ではどちらかというと安定志向が強いと感じるが、いろいろなことにチャレンジしたいと望む社員も増えた。こうなるべく、個人にも企業にとってもよい刺激になる。新たな化学反応も起きるだろう。

(次回はKekst CNCアジア地域代表/日本最高責任者のヨシケン・レグウィー氏です)

## 不変と革新 ~長寿経営に向けて~ 事業をつなぐ

2019年10月に創業100周年を迎えた三ツ星ベルト。木綿ベルトに始まり、自動車や産業用伝動ベルトの大手メーカーに育った。垣内一社長は「モノづくりの基本に返る」と方針を定める。地域に根差しながらグローバルな飛躍を目指す。

## 地域に根差し世界見据える

### 三ツ星ベルト

三ツ星ベルトの転機は95年1月に発生した阪神・淡路大震災だ。創業の地、神戸工場が立地する神戸市長田区は、火災や家屋の倒壊など甚大な被害を受けた。復興に向けた地元の要請を受け、00年には本社を神戸工場の隣接地に復帰。同時に



【企業メモ】1919年(大正8)10月創業。主力の自動車、2輪車用伝動ベルトをはじめ、建設機械・農業機械などの一般産業用伝動ベルト、搬送ベルトを手がける。合成樹脂素材や電子材料にも幅を広げ、新分野を開拓する。国内拠点のほか、海外にはアジア、北米、欧州に製造・販売ネットワークを持つ。

また、震災経験を教訓として毎年1月に防災訓練を実施。従業員や地域住民が消防訓練に参加するほか、地元消防署も放水砲車を出動。災害に備えた訓練を重ねる。垣内社長は「特別な措置を講ずるよりも自然体で対処できる力を磨いてきた」と自負する。

これからの軌跡は「先輩方が培ってきた努力があったからこそ」(垣内社長)。モノづくりを取り巻く環境が変化し、自動車の電動化など国内でエンジン駆動用のベルト需要は減少している。これに対応し、国内外で補修需要の取り込みや農業・産業向けの用途開発、素材ノウハウを応用した新分野の事業化を加速する。

に「三ツ星ベルトふれあい協議会」を結成し、従業員の寄付金による手作りの地域交流活動が始まった。神戸市営地下鉄海岸線が01年7月に開通したことを記念して始めたイベントの「たなばたまつり」を毎年開催する。屋台とともにササを華やかに飾り、特設ステージで地域の子もたちが歌や踊りを披露する。1万人以上が来場する地域の恒例行事だ。

## エイジング楽しめる商品を



ワコール  
山脇 真里さん  
人間科学研究所研究課

リケジョ neo  
(1面から続く)日常生活の中で健康で理想的な体形を作る方法に興味があり、京都大学大学院人間・環境学研究科に進みました。運動生理学

の研究に取り組み、糖や脂質の代謝を促す血中ホルモンについて、日々データを分析しました。

ワコール人間科学研究所では、1年間に約1000人の女性の体を計測します。体の形の計測や、動きを見る動作解析、温熱・接触刺激を調べる感覚生理の研究など、終日計測をする日も少なくなく、学生時代にデータと向き合った経験が生きています。

ワコールでは蓄積したデータを基に、加齢によるバストとヒップの形が変化していく法則をまとめ、エイジングを楽しめる商品提案の根拠となる「からだのエイジングと美の法則」を発表しました。私はバスト研究の担当で、さらに新たな発見がないか模索する日々です。

バストに関する論文は医療関連が大半で「美しさ」の先行研究や計測機器が少なく、参考にできないのが悩み。研究の前準備に時間をとられ大変ですが、毎日奮闘しています。入社して4年間は基礎研究が中心で、今年からモノづくりの部分に携われるようになりました。できた商品を自分で試着し、研究の成果を実感できた時はやりがいを感じます。

休日は社交ダンスの練習でリフレッシュ。職業柄、体形の美しい人に目がいきます。適切なインナーを着用することは将来の「美」にもつながります。研究を通じてインナーの価値を伝え続けていきたいです。  
(文=京都・大原佑美子、写真=冨家邦裕)

「ニュースイッチ」で拡大版 <https://newsitch.jp>

# 承ります。

## 企業映像制作

## 映像を ビジネスツール に使いませんか?

映像から自社のイメージアップを私共、映像制作会社キッズは映画から企業VP、CMと幅広い映像制作を行っています。

### 映像制作内容

- 企業紹介ビデオ [DVD]
- 企業社史ビデオ [DVD]
- 新製品紹介ビデオ [DVD]
- 新入社員募集ビデオ [DVD]
- 記念事業用ビデオ [DVD]
- その他様々なイベント映像制作から教育ビデオ、取り扱いビデオ、マニュアルビデオまで全ての映像を

### これまでのキッズ制作一例作品

- キックマン企業ビデオ
- モノづくりツアー (ドキュメント)
- アイダ記念事業ビデオ
- セーコン物語 (夢をこの手で)

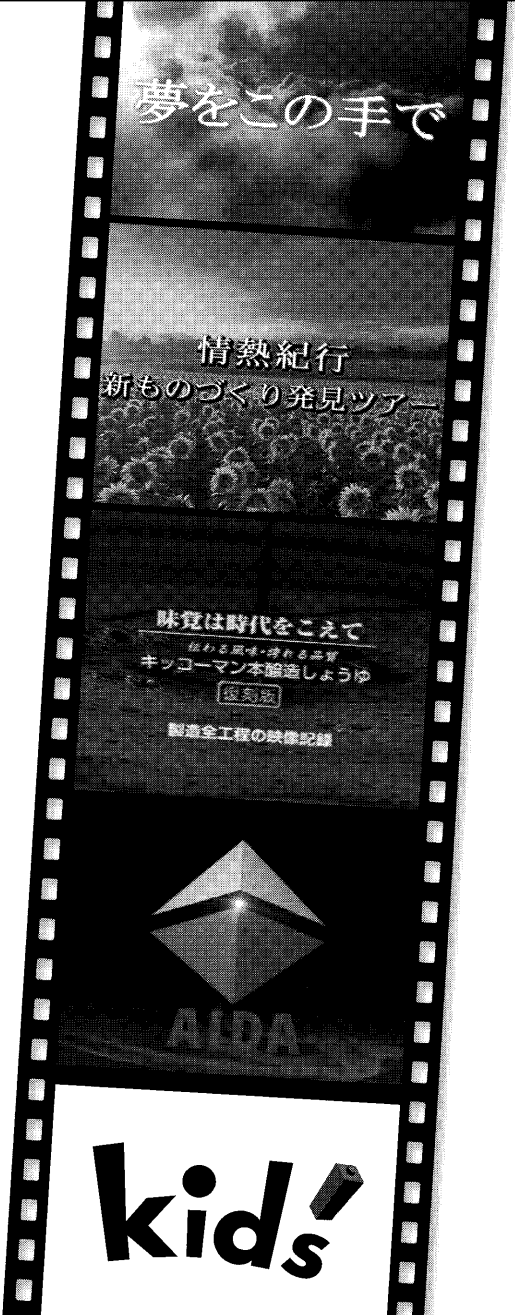
有名タレント使用、モデル、ノンタレントや最新のコンピュータグラフィックスを用いた斬新な映像まで、様々な企画内容にあわせて企画から撮影、編集、音楽と全て自社制作を行います。

制作内容及び費用のお問い合わせは? 

株式会社 キッズ 〒135-0046 東京都江東区牡丹3-25-8 キッズビル  
TEL 03-5621-6622 / 03-5621-6632 FAX 03-5621-6616 MAIL takizawa@kidsboys.com

<http://www.kidsboys.com/> キッズ制作責任者 瀧澤正治

### 夢をこの手で



## kid's!